

なるたき

NARUTAKI

新見公立大学地域共生推進センター



SAしんぶん

駅西サテライト
プロジェクト

NiU学内
アートツアー

～第5号を発行するにあたって～
フリーペーパー「なるたき」は、
新見公立大学や新見市の
「いいな!」「すごいな!」「伝えたいな!」
を学生目線で発信し、
大学と地域をつなぐ役割を
担っていきます

Vol.5



なになに交流会

名寄市立大学とオンラインで交流！



2月9日に、北海道の名寄市立大学との交流会「なになに交流会」通称N会がオンラインで開催されました。なになに交流会の名前は、名寄と新見の頭文字「な」と「に」、お互いの大学について「なになに!？」と詳しく知りたいという思いから名づけられました。

なになに交流会は、お互いの大学について知り、大学と市の発展につなげることを目的としています。両校の共通点は、「人口3万人を切っている市にある保健福祉系の公立大学」です。

交流会では、パワーポイントを使用した大学・地域の紹介、アイスブレイクのあとに、事前に贈りあった地域の名産品の開封をしました。お互いの市や大学について知ることができ、アイスブレイクとして行ったゲームを通して仲を深めることができた有意義な交流会になりました。

名寄市立大学の学生たちは、「今回はリモートでの開催で直接会えませんが、新見公立大学の皆さんと楽しい時間を過ごすことが出来ました。新見の名産品も頂けて嬉しかったです。」と話していました。

今後とも意見交流を行って、大学と市のさらなる発展に繋がるような交流会にしていきたいです。

(桂津紅美)

地域共生推進センターSA（スチューデント・アシスタント）とは、共生社会の構築を目指して設立された同センターに所属して活動している学生スタッフのことです。地域行事への参加や地域交流活動の企画・広報活動などを行っています。今回は、その中で3つの活動を紹介しています！

4月10日に、唐松チューリップまつりが唐松市民センター周辺で開催されました。3年ぶりの開催で、主催者の唐松まちづくり協議会の方から「大学生と交流がしたい!」と、お誘いいただきブースを出すことができました。これまでは子ども向けのブースがなかったと聞いていたので子どもがよりお祭りを楽しめるようにとゲームコーナーを作りました。

企画した地域交流部門のSAは、「子どもたちが本当に楽しそうに遊んでくれたので、出店して良かったです。私たち自身も地域の方と関わることでできる機会になりました。」と話していました。

筆者自身も参加し、直接地域の方からお話を聞いて、SAとしてできることを考え、行動に起こして結果を出せていることに感動しました。今後も地域交流部門の活躍に期待したいです。

(池本花梨)

唐松チューリップまつり

子ども向けブースを出店♪



下熊谷花桃公園まつり

地域に出向いて新しい発見!



4月17日に、下熊谷地区で花桃公園まつりが開催されました。今回は、下熊谷地区の様子が開催することを目的として数名のSAが参加しました。

「初めてに参加した地域交流部門のSAは、りの状態でしたが、地域の方々が楽しんでいらつしやる姿を見て、参加して良かったと感じました。機会があれば、ブースの出店もしてみたいと思います!」とうれしそうに話してくれました。

しかし、今回参加したことでSAの認知度が低いということにも気づけたようで、「地域と関わっていく上でもSAの存在を知ってもらい、良好な関係を築く必要があると思います。」とも話していました。

取材を通して、地域の方々と地域交流部門のSAが共に充実した時間を過ごせたと感じました。また、今回の活動で課題も見つかったようなので今後には活かし、地域交流部門のより良い活動に繋がってほしいと思います。

(尾花仁美)



NiU 新見駅西サテライトPROJECT

地域共生の理念に基づく**大学を活かす街づくり**を目指して、**子ども中心の多世代交流広場**として活用する場です！新見公立大学学生が中心となり、市民や教職員との共同の中で街中交流広場として運営していきます！今回はこれまで行ったワークショップを紹介します！



\ Stage 1 /

第1回 (2021/9/23)

教育コーディネーターの方、デザイン関係の方、もともと大学生と関わりのある地域の方々と交えてキックオフの会として、**工事現場見学**とグループワークを行いました。

これからのkey point

◇学生ファーストで考える！
◇できるだけ多くの学生が関われるようにする！



\ Stage 2 /

第2～4回 (10/15・11/2・11/7)

第2回から**地域の方が本格的に参加**して下さい、第4回では建築設計の方をお招きして実際に話を伺い、建築視点で考えました。

学び 「自分の知識で人が喜ぶ場」
食 「1人で食べずに、みんなで食べられる場」
趣味 「今まで難しかったことが、少し楽になる場」

学び・食・趣味の3つのグループに分かれ、それぞれのテーマについて第2～4回で内容を深めていき、第4回には今後の方向性を考え、計画を立てました。



\ Stage 3 /

中間報告会 (12/20)

各部門ごとに分かれて活動に必要な物品として何を購入するのかを検討しました。

愛称決定 (2022/4/11)

各部門の**愛称を全学生から募集**し、投票・審査の結果

発達支援センター「なごみ」
こども交流広場「ひたまり」
スタディラウンジ「ゆめラウ」

に決定しました！

第5回 (2/14)

トライアルイベントの内容決定とその準備をしました。また、普段の使い方についての協議も行いました。イベントに関しては次のページで紹介しています！



\ Stage 4 /

第6回 (5/17)

3回のトライアルイベントの振り返りと今後の活動内容の検討をしました。

これから楽しいイベントがたくさんあるかも…！？
ぜひご注目ください！！

(文：池本花梨
尾花仁美
桂津紅美)



参加してみてどうでしたか？

学生と地域の方との話し合いが建設の段階からあったことに感動しました。建設の段階から地域の声を聞きたいというのは初めてで、素晴らしいことだと思います。何回も内容について話し合い、私たちの声を取り入れてもらえて嬉しかったです。今後は学生と協力して地域のために、自分たちの経験を活かしながら頑張っていきたいと思っています。

いろいろな人と関われるということでワクワクしながら始まりました。最初は、私もグループの中に介入して発言を促したりしていましたが、最近では学生主体で対話を可視化しています。ワークショップを重ねるごとに学生の成長ぶりを見れてすごいなと思いました。また、大学の先生や地域の人も関わってくださり、新見の地は魅力的だなと思いました。

学生が建物作りの段階から魅力や、やりたいことをイメージして進めていたのが嬉しかったです。専門職だけでなく学生も含めて取り組むことで面白さを知ってもらう機会になりました。建物を自分たちで考える面白さを提供できたことでこの場所に対する愛着やこの場所を利用する責任感が生まれたのではないかと思います。多くのアイデアを元にこのプロジェクトはますます進んでいってほしいです。

現在は学生たちが大学で学んだことを実践の場で経験する、いわゆる経験学修の機会をつくるのが大事だと考えています。学生たちが自分たちで考えたことを実践・評価し、経験を次に活かして、大学の授業の中ではできないような学修をしてほしいです。駅西サテライトを上手く活用して、学生や地域の人にとってあって良かったと思われる場所になってほしいです。

退職公務員連盟

ふなこしたかのり
船越孝則さん



教育コーディネーター

きたうらな お
北浦菜緒さん



和田デザイン事務所

わだゆうき
CEO 和田優輝さん



新見公立大学学長

くもんひろみ
公文裕巳先生



オープニングセレモニー (4/17)

オープニングセレモニーが開催され、地域福祉学科3年生による神楽を鑑賞しました。その後は内覧会を行い、地域の方にNiU新見駅西サテライトをお披露目することができました。このサテライトが地域の方や学生の集いの場となるよう、イベントや普段の使用法を考えていきたいです！

神楽とは、神様にまつり、神様にささげる歌と舞のことです。「神座(かみくら・かむくら)」が転じて神楽になったと言われています。この神座に神様を降ろし、巫女が神がかりをして人々と交信する場での歌と舞が神楽と呼ばれるようになりました。神社の祭礼やお祭りの際に見ることができ、約90種類の神楽歌が存在しています。

内覧会に参加して、素晴らしいものができたと大変嬉しく思います。駅前が過疎化し、子どもたちが高校・大学進学で新見を離れたことで高齢化が更に進み、暗い町のように感じていました。そのため、NiU新見駅西サテライトをきっかけに高齢者と若者、若者同士の交流に繋がれば良いと期待しています。また声をかけてもらい、皆さんとお話したり、料理をしたりしていきたいです。今後は、新見駅周辺がNiU新見駅西サテライトを拠点にして、少しでも賑やかな場所になってほしいです。

しばたひろみ
新見駅前連合町内会長 柴田洋人さん



第2回トライアルイベント (4/24) むすびの場交流会

新見でつくられている竹を用い、竹キャンドル作りを行いました。また、たまがきについての話を聞き、新見の歴史に触れることができました。子どもから高齢者まで世代を超え、交流を行い、楽しんでいただくことができました。



「竹に穴を開けることが楽しかった！」
「新見の竹を使っていることに驚いた！」



「想像していたよりも竹キャンドル作りは大変で難しかったです。たまがきさんの話を聞き、新見の歴史理解をより深めることができました。」



自然豊かな新見にある、竹を活かしたイベントを開催したいと思い、竹キャンドル作りをすることにしました。広報活動に参加してくださる地域団体との連携・むすびの会の中での情報共有など、全体とのコミュニケーションを取り、連携を図ることの大変さを実感しました。今後は、子どもから高齢者まで幅広い年齢の方に参加していただけるようにどの世代の方でも楽しむことのできるイベントをしていきたいと考えています。

むすびの会代表 ひらまつもこ
平松萌々子(看護学科2年)

第1回トライアルイベント (4/17)

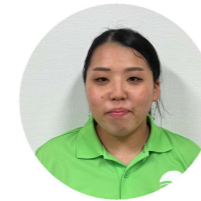
親子でボードゲーム



「NiU新見駅西サテライトの場所を知ってもらう」「名前を知らなくても、友達と楽しむことができる」ことを目的にボードゲームを行いました。20名の地域の方が参加していただき、子どもたち同士で教えあう場面もみられ、みんなが楽しむことができたイベントとなりました。



NiU新見駅西 サテライト オープニングセレモニー & トライアルイベント



第3回トライアルイベント (5/1)

元気な子PROJECT

～親子でかしわもちとこいのぼりバックを作ろう！～

かしわもち作りとこいのぼりバック作りを行いました。かしわもちは、講師の先生に作り方を教わり、親子で協力して一生懸命、楽しく作っている姿が見られました。こいのぼりバックは、世界にひとつだけのバックを作ろうと意気込み、アレンジを加えながら作成していました。親子で楽しめるイベントになったと思います♪



「学生さんが子どもたちの機嫌を上手にとってくれて、子どもたちができることをさせてもらったのでとても良かったです。」



「初めて見るおもちゃばかりで楽しかった！」
「みんなで遊べて楽しかった！」
「今後の活動にも参加してみたい！」



始まる前は、楽しんでもらえるか不安でしたが、「またやりたい！」という声を聞くことができて嬉しかったです。今後は、ボードゲームだけではなく、季節ごとのイベントなどを開催していきたいと考えています。また、こども交流広場“ひだまり”を身近な場と感じてもらえるようにしていきたいです。

こみやまわこ さとうひなこ
小見山和子・佐藤陽名子(健康保育学科3年)

年配の人だけで集まるのではなく、若い人と一緒になって伝承料理をできたことがありがたかったです。若い方から元気をいただき、とても楽しかったです。また要望があれば何でもみんなで作りたいたいと考えています。

かしわもち作り講師
なかがわつみ
中川初美さん

「こどもの日」という祝日を子どもたちに楽しんでもらうためにかしわもち・こいのぼりバック作りを計画しました。初めてイベントを企画・運営したため、大変なことばかりでした。しかし、多くの人の協力を得て、楽しんでいただくことができて良かったと思います。今後は、季節にあったイベントを開催し、親子に楽しんでもらえる企画を立てていきたいです！

かつらつぐみ
桂津紅美(看護学科2年)



「かしわもちがおいしかった！」
「こいのぼりバック作りが楽しかった！」
「かわいくできて良かった！」

「ゴールデンウィークにどこにも出かける予定がなかったため、今回のイベントに参加できてとても楽しかったです。」



NiU学内アートツアー

今回は大桐先生と同じ彫刻を専門とされている新見公立大学健康保育学科長の岡本直行先生に大桐先生の2つの像について教えていただきました。



大桐 國光 先生

Ogiri Kunimitu (1927~2008)

姫路市に生まれ新見市の哲多町で幼少期を過ごす。詩情あふれる人物像が高い評価を受け、1971年から三年連続で新作家賞を受賞し、新制作協会会員となる。その後、イタリアのローマ国立アカデミアに留学し、エミリオ・グレコに師事した。帰国後、佐藤忠良の作品に感銘を受け、素朴で誰からも愛される数多くの作品を制作し、彫刻界の発展に大きく貢献した。

是非、実際に鑑賞しに
大学へお越しください♪

今回は「なるたき」Vol. 3, Vol. 4の
表紙に使用させていただいた
“ちょっと気になる像”
についてご紹介します。

エーゲ海より

この作品は地域共生推進センター棟入り口に設置されている。スカート
のひだはイタリアの真っ青な海に漂う**エーゲ海の波**を感じさせ、設置ス
ペースの壁は**アーチ構造に漆喰を塗ったイタリアの家屋を思わせる**
デザインとなっている。

【お話を聞いて】彫刻の設置場所のデザインにまでこだわっているという
お話がとても印象に残っています。はるか彼方を見上げている少女の目線
から少女の夢や希望が叶う未来への憧れが感じられます。簡略化されたフォルムが特徴的な作品なので、地域や学生の皆さんにぜひ実際の彫刻を近く
で見て線刻の繊細さも感じて頂きたいです。



髪を洗う女

大桐先生の遺作展を行った際に奥様より寄贈された代表作の一つである。川で髪
を洗うかつての日本の母を模したダイナミックなポーズが特徴的で**貧しい中での**
母の強さを感じさせる。ぎりぎりまで研ぎ澄まされた形で芯の詰まっている造形
となっており、彫刻から力を感じる作品である。

【お話を聞いて】この彫刻は正門から本館へ続く広場に飾ってあり、初めて見た時
からとても印象に残る作品です。入学式や卒業式には彫刻と写真を撮る学生の姿も
見かけます。毎日の登下校で目にする彫刻に愛着を感じ、まるで母の強さに見守ら
れているようです。

(文：荒川真七帆、上満真子、江角萌子)

編集後記

フリーペーパー「なるたき」は皆様のおかげで今回、
第5号を発行することができました。第5号では、こ
の春に完成した「NiU新見駅西サテライト」を多くの
皆様に利用していただきたいと思い、完成するまでの
軌跡やトライアルイベントについて大きく取り上げま
した。今後も地域や大学の情報を発信し、地域と大学
の架け橋となることを目的とした「なるたき」をお届
けできるよう尽力してまいります。(広報部門SA)

お問い合わせ

地域共生推進センター（新見公立大学内）

Tel：0867-72-0634 Email：chiikikyousei@nimi-u.ac.jp

SAの情報をお届け！
フォローお願いします♪

あなたの感想、 お待ちしております！

「なるたき」のさらなる発展
のために皆様のご意見・ご要
望をお聞かせください♪
下記の問い合わせ先、または
インスタグラムのダイレクト
メッセージまでお気軽にご意
見お寄せください！



表紙「なるたき」タイトルデザイン 小藤慶喜氏作